

| | | | |
|----------|---|-------------|---|
| 科目 | 情報処理 (Information Processing) | | |
| 担当教員 | 鈴木 隆起 講師 | | |
| 対象学年等 | 機械工学科・5年C組・後期・必修・1単位 (学修単位I) | | |
| 学習・教育目標 | A3(100%) | JABEE基準1(1) | (c),(d)1 |
| 授業の概要と方針 | システム開発分野で広く使われているプログラミング言語であるC言語に関する基礎知識を獲得するとともに、そのプログラミング演習を通して問題からアルゴリズムを構築する能力をつける。また、Cプログラミング環境の操作方法を習得する。 | | |
| | 到達目標 | 達成度 | 到達目標毎の評価方法と基準 |
| 1 | 【A3】プログラム開発環境における基本操作に関する基礎知識を得る。 | | プログラム開発環境における基本操作に関する基礎知識を得ているか、演習課題と定期試験により評価する。 |
| 2 | 【A3】C言語の文法に関する基礎知識を得る。 | | 型、if文、for文、配列、関数などのC言語の文法に関する基礎知識を得ているか、演習課題と定期試験により評価する。 |
| 3 | 【A3】プログラミングとアルゴリズムに関する基礎知識を得る。 | | プログラミングとアルゴリズムに関する基礎知識を得ているか、演習課題と定期試験により評価する。 |
| 4 | | | |
| 5 | | | |
| 6 | | | |
| 7 | | | |
| 8 | | | |
| 9 | | | |
| 10 | | | |
| 総合評価 | 成績は、試験60% レポート20% 演習20% として評価する。100点満点で60点以上を合格とする。また、ここでいう演習とは、授業で課す演習課題をメール、Web公開もしくは紙面などの方法で提出することを示す。 | | |
| テキスト | 「新版明解C言語入門編」：柴田望洋（ソフトバンクパブリッシング） | | |
| 参考書 | 「解きながら学ぶC言語」：柴田望洋（ソフトバンクパブリッシング） | | |
| 関連科目 | M1AB「情報基礎」、M2AB「情報処理」 | | |
| 履修上の注意事項 | 上記関連科目を理解しておくこと。本授業はプログラミングを中心とした実習的な要素が強いため、総合評価ではレポートや演習点の割合を大きくしている。 | | |

